

## 卒業生からのメッセージ（2025.1）

大阪河崎リハビリテーション大学 増澤達彦さん 平成 25（2013）年 3 月学部卒業  
平成 30（2018）年 3 月修士卒業  
令和 4（2022）年 3 月博士卒業

---

2025 年 1 月\*\*日

私は現在、大阪河崎リハビリテーション大学で作業療法学専攻の教員をしています。自分の学生時代を振り返りつつ教員の日々を過ごしています。

神戸大学を卒業してからは精神科病院の作業療法士として勤務していました。3 年が経過した頃、参加した日本作業療法学会で研究に興味をもち大学院への進学を決断しました。学部生の時からお世話になっている先生から学べる、働きながら大学院へ通うことができる、そして大学院で学んでいることをすぐに現場で活かせるという点で、神戸大学の大学院が自分にとって最適な選択でした。仕事では異動があり、障害福祉サービスである就労支援の現場で働き始めました。社会人大学院生として修士・博士課程を修了した後、縁があって現在の作業療法学専攻の教員となりました。

作業療法士は病院といった臨床とともに研究・教育にも携わっています。病院の仕事を経験したこと、大学院も経験したこと、学部から大学院までよく知った先生方や同級生と作業療法の実践・研究等について様々な相談をしたこと、こういった経験が今の進路につながっていると感じています。

